

丸三証券

MARUSAN

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応
〈アップデート〉

2025年度版

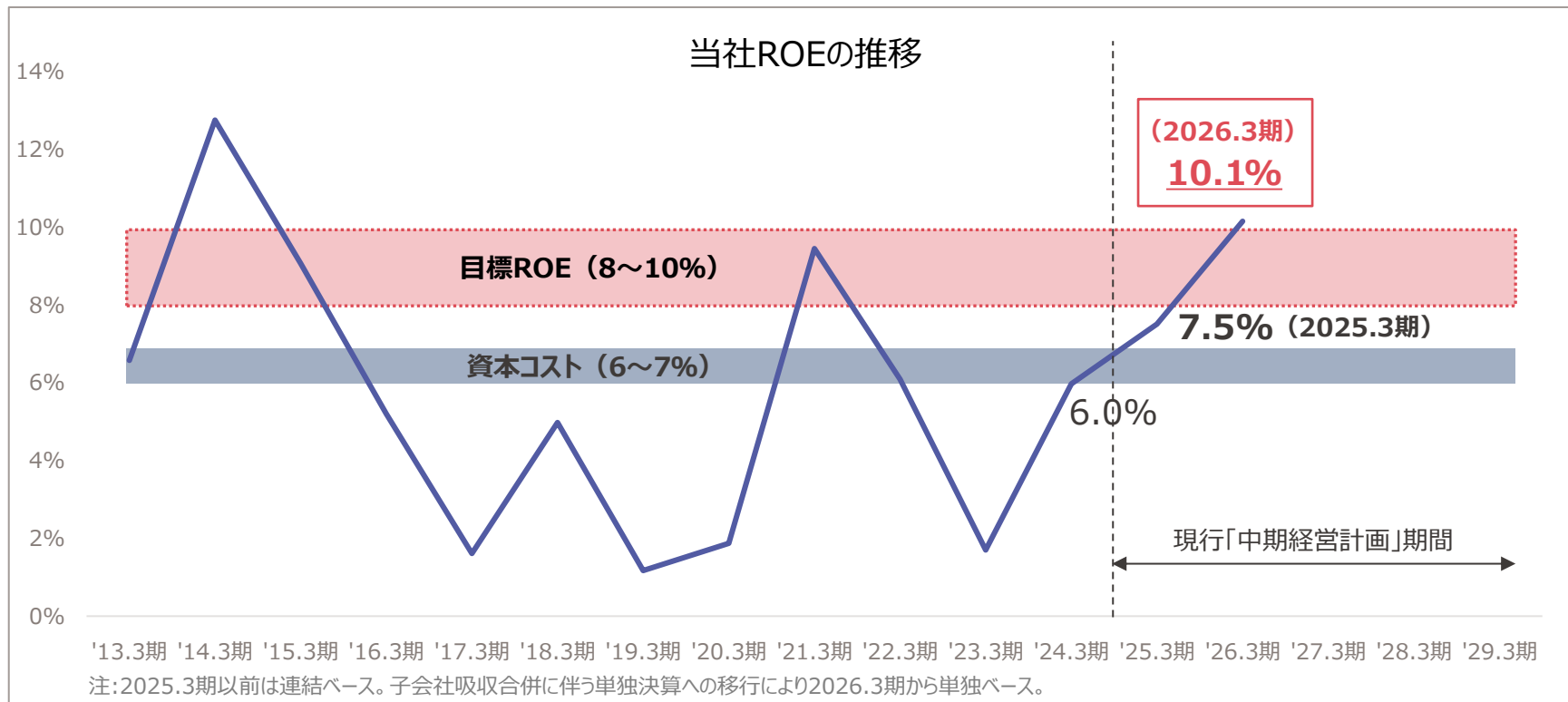
2026年5月15日

目次

- 1. 資本コストを上回るROEの達成**
- 2. マーケット環境に左右されにくい業績の安定性確保**
- 3. 株主還元の強化**
- 4. 投資家との対話の強化**

1. 資本コストを上回るROEの達成

- 資本コストを平均的に上回るROE8%（長期10%）の達成を目指す



当社株主資本コスト（参考値）の前提

※中期経営計画策定時の数値

$$\begin{array}{c} \text{リスク} \\ \text{フリーレート} \end{array} + \begin{array}{c} \text{ベータ} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{市場リスク} \\ \text{プレミアム} \end{array} = \begin{array}{c} \text{株主資本コスト} \end{array}$$

1.0%程度
0.8~0.9
6%程度
6~7%程度

2.マーケット環境に左右されにくい業績の安定性確保

■ 株価がPBR1倍を下回る理由として考えられること

1. ROEが投資家の期待する水準に達していない
2. 対面証券業界全体として、業績がマーケット環境に左右される傾向が強く、業績の不安定さが投資家にとっての魅力低下につながっている

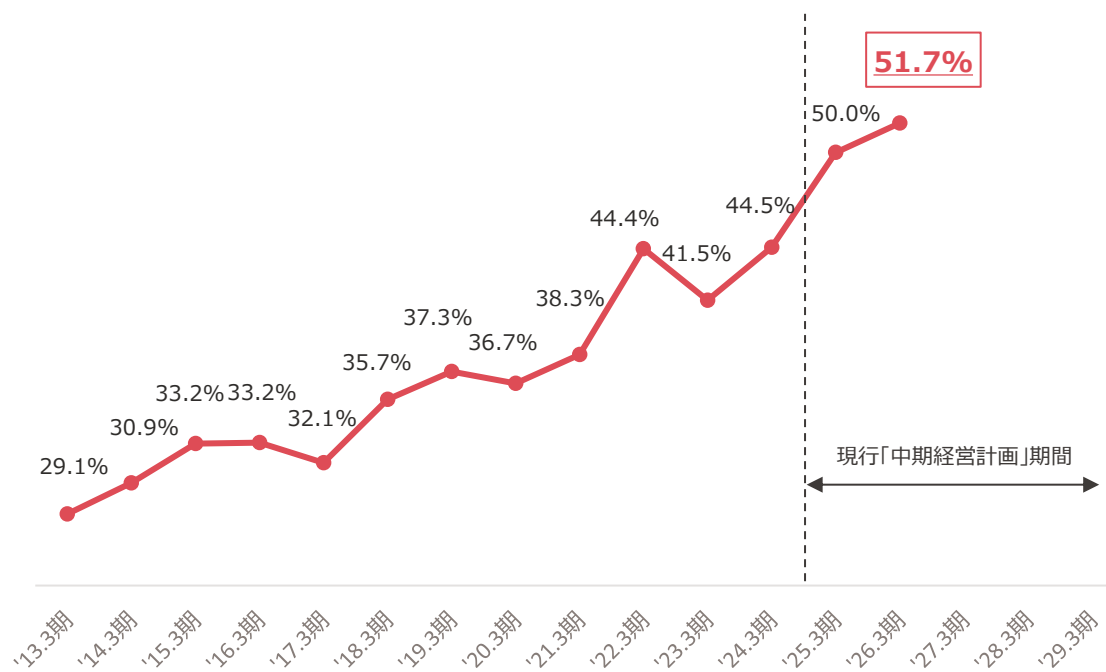


ROE向上に加え『業績の安定性確保』が必要



信託報酬による販管費カバー率
引き上げ（中期目標55%）で、
更なる『業績の安定化』を図る

投資信託の信託報酬による販管費カバー率



3.株主還元強化

- 普通配当（配当性向50%以上）に加え、特別配当を実施（2024.3期～2028.3期）
 - ✓ 資産管理型営業へのシフトによる収益基盤の安定化進展
 - ✓ 通信販売事業譲渡に伴う信用貸付金の減少で、手元資金の必要性低下
 - ✓ 内部留保水準の適正化、資本効率改善

＜普通配当に加え、2028.3期まで特別配当を継続実施予定＞

	普通配当金		特別配当金		
	年間		年間	中間	期末
2024.3期 実績	30円	+	30円	15円	15円
2025.3期 実績	30円		30円	15円	15円
2026.3期 実績	40円		30円	15円	15円
2027.3期 予定	未定		20円	10円	10円
2028.3期 予定	未定		10円	5円	5円
			120円	60円	60円

注：配当金は1株当たり
 期末配当は、各期終了後に開催される株主総会での決議が条件

注：2023年9月15日公表

- その他の株主還元策も、状況に応じて検討を継続

4.投資家との対話の強化①

- 経営陣幹部や取締役等（社外取締役、監査役を含む）による面談の実施
- 広報IR担当による面談の継続
- 投資家向けIRミーティングの開催
 - ✓ 機関投資家・アナリスト向け
 - ✓ 個人投資家向け
- 大株主（機関投資家）への決算報告
- 英文開示資料の拡充
- 東証要請※に対応した開示の実施
 - ✓ 対応者、投資家の概要、主なテーマや投資家の関心事項、経営陣・取締役会へのフィードバック状況・・・

※「株主との対話の推進と開示について」（東京証券取引所：2023年3月31日）

4.投資家との対話の強化②

対話実施状況（2025年度）

項 目		実 施 状 況
1.	機関投資家・アナリスト向け 決算・経営戦略説明会	開催日：5月19日、11月20日 開催方法：オンライン
2.	個人投資家向けIRセミナー	開催日：8月18日（大阪）、8月26日（東京） 開催方法：対面セミナー方式
3.	個別株主・投資家対応	大株主訪問：5～6月（7社）、11月（7社） 個別アナリスト取材対応：6件 個別株主電話対応：19件

4.投資家との対話の強化③

対話を通じた主な意見等（2025年度）

項 目		対応者	主な意見・関心事項
1.	機関投資家・アナリスト向け決算・経営戦略説明会	社長	<ul style="list-style-type: none">・中期経営計画（投信純増・日本株純増）の進捗について・マーケット環境が厳しい中での営業について・新規口座数の推移について・人員の確保、採用強化について
2.	個人投資家向けIRセミナー	社長	<ul style="list-style-type: none">・経営戦略について・日本株特化の営業について・ファンドラップについて・株主優待について
3.	個別株主・投資家対応	IR担当役員 法人担当役員	<ul style="list-style-type: none">・中長期的な成長戦略について・ROE8%の目標達成に向けた進捗について・ファンドラップのスケジュール、収益期待について・株式委託手数料の値上げについて・配当政策について・インフレによるコスト増への対応について・キャッシュの用途、資本政策について・ダイバーシティに関する取組みの進捗について・政策保有株の縮減について

4.投資家との対話の強化④

社内へのフィードバックと取り入れた事項（2025年度）

（1）フィードバック状況	
1.	（2026年4月）2025年度の対話状況を経営会議にて報告
2.	（2026年5月）2025年度の対話状況を取締役会にて報告

（2）取り入れた事項	
1.	保有する現金・預金の状況について経営会議で議論
2.	女性管理職比率が3.0%（2026年3月末時点）と当面の目標である2%を超過
3.	政策保有株を削減

4.投資家との対話の強化⑤

英文開示の拡充（2025年度）

時期	項目
2025年4月～	・全ての適時開示を英文開示
2025年6月	・「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の英文開示



100年変わらぬ志

丁寧に、誠実に、あなたの未来のために

問合わせ先

丸三証券株式会社 企画部

TEL : 03-3238-2301

FAX : 03-3238-2225

<https://www.marusan-sec.co.jp/>



本資料は、当社の業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘する目的としたものではありません。

本資料は、2026年5月15日現在のデータに基づいて作成されています。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましては、その責を負いかねますのでご了承ください。本資料に記載された意見や将来予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、又は約束するものではありません。また今後、予告なしに変更されることがあります。

商号：丸三証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第167号

加入協会 日本証券業協会、一般社団法人資産運用業協会